

百五銀行のIT・デジタル戦略

～モバイル戦略・業務デジタル化戦略の取組み～

IT・デジタル技術の急速な進歩により、ライフスタイルや働き方など社会環境が大きく変化していくなかで、「IT・デジタル改革」は重要な経営戦略の一つと考えます。当行では、進化するデジタル技術をいち早く活用し、お客さまのさらなる利便性の向上、生産性の向上をめざし、さまざまな取組みを行っています。

■ モバイル戦略 ～スマートフォンでつながる新しい銀行のカタチ～

今では多くの皆さまがスマートフォンを所有しています。また近年のICTの普及によって、連絡手段だけでなく、情報収集から交通機関の乗車、ショッピングなど「いつでも」「どこでも」手続きができる生活のインフラになっています。このような環境の変化に適應すべく、当行では、あらゆるお取引をスマートフォンで行っていただけるようなサービスの提供に努めています。

いつでもどこでもスマートフォンでアクセス!

お買い物も!
スマホ決済アプリ
[Origami Pay]

口座から直接お支払いできます。割引やクーポンを利用して現金よりもお得にお買い物ができます。

貯金も!
自動貯金アプリ
[finbee]

スマホでおつりや歩数などに連動して、積立ルールを設定できる貯金アプリです。手続きもすべてスマホで行えます。

税金のお支払いも!
[バーコードPay]
コンビニ払込票決済アプリ

コンビニ払込票をスマホでお支払い! 税金・公共料金などもスマホでお支払いできます。

銀行手続も! 通帳も!
インターネットバンキングアプリ
(通帳アプリ)

振込や投資信託などの銀行手続もスマホで行えます。生体認証機能で簡単にログオンできます。

情報収集も!
LINE@

銀行や地域の情報をお客さまのスマホへ配信します。

ホームページも!
ホームページ

スマホ対応の見やすいデザインで、銀行の情報を確認いただけます。

担当者の声

デジタル技術の進化によって、さまざまなサービスがスマートフォンをとおりご利用いただけるようになりました。当行では、インターネットバンキングや通帳をはじめ、お買い物や貯金、税公金のお支払いまで、スマートフォンでご利用いただけるサービスを揃えています。これからもお客さまが「いつでも」「どこでも」スマートフォンで便利にご利用いただけるようなサービスの提供をめざしていきます。

デジタルイノベーション部 つながる@ネット課 三好 あゆみ

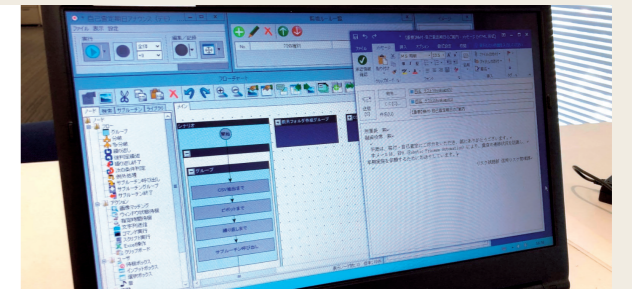


■ 業務デジタル化戦略 ～RPAを活用した業務効率化の実現～

当行では、業務の効率化を実現するとともに、より生産性の高い業務へ人材をシフトすることで、組織・人材の効率化を図るため、RPAの取組みを推進しています。2018年4月にRPAが本格始動して以降、銀行内（主に本部）のさまざまな事務作業（集計・入力作業や照会業務など）をRPAに置き換え、業務の自動化を図っています。

■ RPA取組みの経緯

- 2016年 8月 ● 調査開始
- 2017年 6月～11月 ● 試行プロジェクトを展開
- 12月 ● 本格展開に向けた全業務の棚卸
- 2018年 4月 ● 本格展開スタート



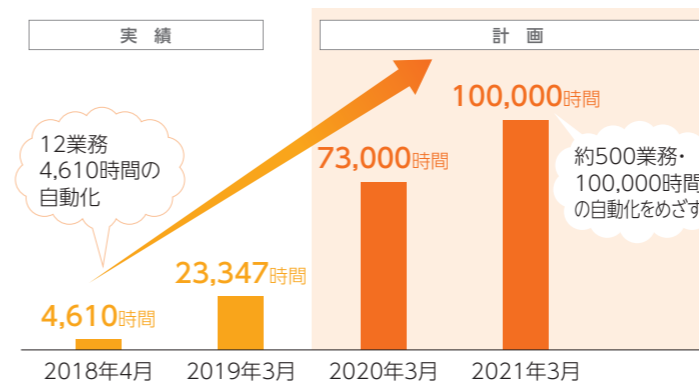
■ RPAの導入効果

RPAにより、定型的な作業を「代行（自動化）」することで以下の効果が期待できます。

RPA導入前		RPA導入後
● 入力ミスの発生	品質	● 正確性の向上
● リカバリー作業の発生		● チェック作業の軽減
● 転記や帳票印刷などの単純・繰り返し業務	スピード	● 自動化による生産性向上
● 特定の「人」や「時期」に業務が集中	プロセス改善	● 業務の標準化・平準化による残業時間の削減

■ RPAへの転換状況

行内の「定型業務」を中心に業務自動化を開始しています。



■ 今後について

RPAの取組みは、今後、営業店業務にも展開し、対象業務の拡大を図ります。こうした業務の自動化により捻出される時間は、より付加価値の高い業務へと転換されるとともに、営業活動や新たな業務の創出などに使われることが期待されます。



RPA (Robotic Process Automation) とは?

「ヒト」による手作業を代行（自動化）するツールのこと。定型業務など人間の補完として業務を遂行できるため、仮想的労働者ともいわれている。